



報道関係各位

2015年2月18日

公益社団法人企業情報化協会

—NEWS RELEASE—

「Super SE 100 人衆(IT 優秀個人表彰)」第 1 期 7 名決定

公益社団法人企業情報化協会(通称:IT 協会)では、平成 26 年度第 32 回 IT 賞受賞企業の中から特に顕著な活躍・貢献したと思われる個人 7 名を選出し、第 1 期の Super SE100 人衆として表彰した。

IT 協会では今年より毎年 5 名から 10 名程度をめどに Super SE を選出し、最終的には 100 名を目指す。

今回 Super SE100 人衆として表彰された 7 名は以下の通り。また表彰式を 2015 年 2 月 5 日に開催された「第 30 回記念 IT 戦略総合大会」会期内にて行った。

会社名	氏名
楽天株式会社	鈴木 富美恵(すずき ふみえ)
株式会社 NTT データセキスイシステムズ	矢野 光(やの ひかる)
東京海上日動システムズ株式会社	片桐 昌樹(かたぎり まさき)
株式会社シーエーシー	稲見 嘉孝(いなみ よしたか)
株式会社デンソーIT ソリューションズ	富永 幸助(とみなが こうすけ)
西日本旅客鉄道株式会社	大久保 順和(おおくぼ よしかず)
パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社	田上 真司(たがみ しんじ)

(順不同・敬称略)

Super SE100 人衆とは

- IT 賞受賞企業からの人材候補者の推薦をベースに選定。人材候補は自社社員に限らず IT 推進のパートナーからも選出。ただし、事業や企業の経営者の地位・役割ではなく、IT 関連の実務家として卓越している人材を推薦するという視点から選定した。
- Super SE 選出には毎年 5 名～10 名をめどに行い、対象者の数を増やしていくことを目指し、最終的には 100 名を目指す。なおある程度の蓄積が得られたら、IT 協会において「IT 上質人材像」の具体化のための研究に結び付けていく。
- また受賞者の推薦理由を IT 活動領域とタイプ別のマトリックス(推薦シート)の上にプロットし、どのような行動様式や思考様式を持った人材がどのような業績をあげるかという関係性を分析する。これによって、現実的かつ経験的に辿ることができる卓越人材のスキル特性を描写することを最終目標とする。

平成 26 年度IT賞「Super SE 100 人衆」受賞者と推薦理由

受賞者名	会社名・所属
鈴木 富美恵	楽天株式会社 エマーシングサービス開発部 メディアサービス開発課 コミュニティサービス開発グループ プロデューサー
<p>【推薦理由】</p> <p>楽天キレイ°Cナビは、スマートフォンを活用して簡単で続けやすい基礎体温管理システムと、蓄積されたユーザーの体温データをBig Dataとして分析活用することにより、女性の不安定で、且つ千差万別なホルモン状態からの健康管理というアプローチで役立つ情報を提供するサービスとして開発、提供を行っている。株式会社東芝と体温転送が可能な体温計を新規に開発。忙しい女性でも使える簡単で続けやすい基礎体温管理システムを目指し、転送方式もプラットフォームへの依存をできるだけなくし、機種や環境を意識することなく利用できるようにしており、このプロジェクトで受賞者は、「女性向けの体温管理ができるサービスを」という大きな命題より、1) サービスコンセプト・ターゲットユーザーなどのプロダクト・ブランドの基本設計、2) ビジネス設計構築、3) サービス開発に於けるソリューションの選定、機能概要の設計、に注力。プロジェクトの管理を含めた、サービス開発の領域と、事業的な新サービスの立ち上げに大きく貢献した。楽天、また世の女性に向けた画期的なサービスのIT分野からのビジネス創出を期待できる人材である。</p>	
矢野 光	株式会社NTTデータセキスイシステムズ 技術統括部 技術基盤グループ
<p>【推薦理由】</p> <p>電子メールやスケジュール、電子会議室・掲示板といった、いわゆるグループウェアは、今や企業にとっては基幹系システムと同等の存在になった。積水化学では、オープンソースソフトウェア(OSS)を利用し、グループウェアを内製(自社開発)している。このグループウェア「Smile」は使い勝手の面だけではなく、機能拡張の要望への迅速な対応、理念伝達・風土改革・知識開拓・ナレッジ・マネジメント、利用者が増えても費用は増えないというコスト低減などにおいて大きな効果を生んだ。社員証と連動させたID管理、利用状況モニタリングによる不審な動作の検出といったセキュリティ面の効果も大きい。また、2013年度にはSmileの基盤を、IaaS(AWS)に移行した。利用者のメールボックスの容量制約を緩和する、オンプレミスゆえのグループウェア・サーバーの維持・更新作業負担をなくす、電子メール保存機能やBCP対応、グローバルでの情報共有基盤の統一などが目的である。当該対象者は、グループウェア内製化の主担当としてアプリケーション開発を担ってきた。また、今回のIaaS(AWS)移行に関しては、自らのIaaS(AWS)アカウントで試行するなど積極的に最新技術を学び、本番移行を計画通り実施する原動力となった。AWSのユーザ会では、その専門性の高さを他社のエンジニアからも評価された程である。</p>	
片桐 昌樹	東京海上日動システムズ株式会社 商品第一本部 契約新システムデザイン部 ソリューションプロデューサー
<p>【推薦理由】</p> <p>損害保険の多品種商品(約200商品)に対して、旧来の販売プロセスを廃止し、自動車・火災・超保険等の主力商品と同様の新しい販売プロセスを支える保険契約管理システムを構築した。本プロジェクトは、オープン系の新技術を駆使し、低コストで高い汎用性を実現した大規模プロジェクトである。実現に向けては、ビジネス部門を中心とした業務プロセス・機能要件検討はもちろん、技術面の課題解決が重要なポイントの一つであった。対象者：片桐昌樹は技術・製造のリーダーとして、「商品開発・商品改定をコーディングレスで可能にする仕組の構築」、「将来の拡張性・移植性を見据えたオープンソースや新技術の採用」、「自社開発チームでの内製中心の開発推進」といったこれまでに無い新しい発想での実現を、自らが先頭に立って進めた。これによって、商品追加や商品改定が低コスト(従来比で約5分の1)で対応可能になるとともに、製造～テ</p>	

ストの開発期間も従来比で30～50%短縮した。また、自社開発チームを率いて製造工程をリードし、オープン系の開発経験・スキルの自社蓄積を達成した。高い技術力とプロジェクト推進・管理能力を如何なく発揮し、グローバルにも通用する次世代の損害保険システム基盤を構築する高い功績をあげた。

稲見 嘉孝

株式会社シーエーシー
年金・信託営業本部

【推薦理由】

プロジェクト: 2014年度ITビジネス賞受賞の具材となった「年金管理パッケージ(Micmari)」開発におけるアーキテクチャ開発責任者(PL)として従事。同社の特化分野である年金管理に関するシステムをクラウド型サービス提供を行うため、可能な限りの新技術(最新のインフラ、言語、フレームワーク)を採用した。実ユーザ不在、新技術に立ちはだかる課題を、地道かつ大胆に解決し、プロジェクトメンバーの教育、リードのも多大な貢献を果たした。社内職群はアプリケーションアーキテクトであるが、技術的貢献のみならず、(見えないながらの)ユーザ視点、メンバー視点、技術者視点をバランスよく保ち完成まで確実に導いた。

富永 幸助

株式会社デンソーITソリューションズ
ITサービス部 設備導入室 グループリーダー

【推薦理由】

デンソー本社、および、国内グループ会社のEUCシステムのIT基盤(個別サーバ約3000台)を対象にデンソーITソリューションズがプライベートクラウドをサービス提供し、ユーザの業務のスピードと質の向上を実現する。このプロジェクトの中長期計画の策定から構築、サービス展開までリーダーとしてプロジェクトを牽引。

2014年10月現在、サービス展開状況としてサーバ818台統合を完了、構築期間として個別サーバの調達期間と比べ十分の一に短縮した。またコストは個別サーバの調達コストに比べ半減させ、その節電効果は年間で一般家庭1,200世帯相当にあたる。運用レベルもデンソー本社の基幹システムと同等の運用レベルを実現させた。

大久保 順和

西日本旅客鉄道株式会社
IT本部 課長代理

【推薦理由】

今回構築した車両情報システムの中でも最も重要な、車両の検査期限管理業務についてシステム化を成功させた。具体的には、期限超過防止対策として複雑な検査周期ロジックを実装し、携帯電話やパトランプなどのデバイスを活用した検査期限超過防止の警告機能を完成させた。また、ベテラン社員の紙による車両検査期限管理の業務プロセスや帳票を標準化し、地域により異なっていた業務を均質化することで、容易に技術継承を行う業務基盤をつくった。更には、車両のメンテナンスコスト低減においても、大きな成果をあげている。そして、プロジェクト終了後も、ユーザ部門と協調しシステムの改善やデータ分析に継続的に取り組むなど、新システムを活用した業務品質の向上を推進している。

田上 真司

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社
システムソリューション事業部

【推薦理由】

展望台「ハルカス300」、あべのハルカス美術館において、ITサービス業界初である入場ゲート、POS端末、釣銭機、決裁端末、チケットプリンター等を含めた「ファシリティ提供サービス」のみならず、来場者様実績に応じた成果報酬型での利用料課金という「レベニューシェア型サービス」もあわせた新モデルを創出した。『レベニューシェア型クラウドサービス』提供により、近鉄のIT初期投資コストを大幅に削減。開業後のシステム運用費を、来場者様実績という収入に連動して増減する完全変動費化に成功。システム資産を持つことなく、機器故障などの有事の際には、責任を負う必要がなくなるメリットを近鉄へ提供し、同サービスにより、サービスイン後も近鉄とPIS間でビジネスを共に進めている一体感が生まれ、また、サービスイン後もチケット販売に関するヘルプデスクサポートを通じて、両施設のスムーズな運営に寄与した。

Super SE100 人衆選考の視点

- 1) ビジネスやマネジメントに関する独自の視点やアイデアの発揮
- 2) 企業価値、商品価値向上に資する IT 活用アイデアの提供と具現化
- 3) 顧客もしくは自社における新たなビジネス創出への関与と貢献
- 4) ユーザの業務に対する本質的な理解
- 5) 安全・安心・コンプライアンスの遵守への貢献
- 6) プロジェクトマネジメントスキルおよびリーダーシップ
- 7) IT の動向や活用に関する理論・技術への見識と適用

※人材像を理念型として描く時には往々にして期待される全ての特性や能力を備えた「スーパーマン」を求めるような議論になりがちであるが、ここでは上に述べた七つの視点の全てを兼ね備えた「幻の人材」を探し求めるのではなく、七つの視点(七芸)の中の一芸・二芸・三芸に秀でた実在する人材を探し、そこから理念型としての理想人材を想定することを考えた。

IT 賞とは



公益社団法人企業情報化協会(会長:宇治 則孝 日本電信電話株式会社 顧問)では、昭和 58 年 3 月に設定した情報化優秀企業・自治体・機関・事業所等表彰制度に則り、わが国の産業界において、“IT を活用した経営革新”に顕著な努力を払い優れた成果をあげたと認めうる企業・機関・事業所・部門あるいは個人に対して IT 賞を授与している。このたび、平成 26 年度 IT 賞審査委員会(委員長:斎藤信男 慶應義塾大学名誉教授)において、厳正な審議のもと、25 社 18 件の受賞を決定した。

公益社団法人企業情報化協会(IT 協会)について

名称 : 公益社団法人企業情報化協会(通称:IT協会)
会長 : 宇治 則孝(日本電信電話株式会社 顧問)
設立 : 1981 年 7 月 16 日
会員数 : 200 社
所在地 : 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 日本能率協会ビル
電話 : 03-3434-6677 URL:www.jiit.or.jp

※本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人 企業情報化協会(IT協会) IT 賞事務局 E-Mail:info@jiit.or.jp
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 日本能率協会ビル
TEL 03-3434-6677 FAX 03-3459-1704

写真は平成 26 年度 IT 賞 Super SE 100 人衆に選出された 7 名。
(2015 年 2 月 5 日開催の第 30 回 IT 戦略総合大会会期内にて)



以上